

# 平成29年産水稻の生育状況と今後の対策 (水稻生育診断技術確立調査-2号)

農林総合研究センター  
平成29年5月29日調査

## 気象経過

< 平年対比 >

### 【平均気温】

- ・ 5月第4半旬は、金沢は高く、輪島は並となった（平年差：金沢+1.1℃、輪島+0.3℃）。
- ・ 5月第5半旬は、金沢、輪島ともかなり高かった（平年差：金沢+3.7℃、輪島+3.5℃）。

### 【日照時間】

- ・ 5月第4半旬は、金沢、輪島ともかなり多くなった（平年比：金沢185%、輪島195%）。
- ・ 5月第5半旬は、金沢、輪島ともかなり多くなった（平年比：金沢119%、輪島120%）。

### 【降水量】

- ・ 5月第4半旬は、金沢、輪島ともかなり少なくなった（平年比：金沢0%、輪島0%）。
- ・ 5月第5半旬は、金沢、輪島ともかなり少なくなった（平年比：金沢8.5%、輪島0%）。

### 【1ヶ月予報】

5月25日発表の1か月予報（5月27日～6月26日）では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率50%です。

## 生育概況等

### 【本田の生育】

1. 草丈は、コシヒカリは平年比97～114%（県平均105%：加賀：105%、能登：105%）、と概ね平年、前年に比べやや長い。ゆめみづほは、近年比94～115%（県平均104%：加賀：102%、能登：112%）と加賀地域は近年並で前年よりやや長く、能登地域は近年及び前年に比べ長い。
2. 茎数は、コシヒカリは平年比107～162%（県平均129% 加賀：127%、能登134%）と平年に比べ多く、前年よりやや多い。  
ゆめみづほは、近年比90～170%（県平均139% 加賀：134%、能登168%）と近年及び前年に比べ多い。  
ひやくまん穀は、調査田の移植日がコシヒカリに比べ加賀地域で4日、能登地域で12日程度遅いため、加賀地域で分けつの発生が見られるものの、能登地域では分けつの発生は見られていない。
3. 葉齢は、コシヒカリは平年比95～133%（県平均106%：加賀：+0.3葉、能登：+0.3葉）、ゆめみづほは近年比100～111%（県平均106%：加賀：+0.2葉、能登：+0.6葉）、ひやくまん穀は、県平均4.7葉（2.4～6.1葉）となっている。  
葉齢展開は、コシヒカリは平年に比べ2～3日程度早く、前年並。ゆめみづほは近年に比べ2日程度早く、前年並。

### m<sup>2</sup>当たり茎数(平年、前年)及び株当たり茎数

コシヒカリ	県平均	176本	(平年比 129% 前年比 161%)	9.7本/株
	加賀	186本	(平年比 127% 前年比 112%)	10.1本/株
	能登	161本	(平年比 134% 前年比 106%)	8.8本/株
ゆめみづほ	県平均	207本	(近年比 139% 前年比 122%)	11.5本/株
	加賀	218本	(近年比 134% 前年比 121%)	12.4本/株
	能登	185本	(近年比 168% 前年比 130%)	9.9本/株
ひやくまん穀	県平均	100本	(移植 5月12日)	5.4本/株
	加賀	133本	(移植 5月6日)	7.4本/株
	能登	77本	(移植 5月17日)	4.0本/株

## 【病害虫の発生状況】

イネミズゾウムシによる食害が県内全域で散見されるほか、一部地域では、イネゾウムシ、イネドロオイムシおよびイネハモグリバエ幼虫の食害が散見されている。  
また、雑草地における斑点米カメムシ類の生息数はやや多くなっている。

### 当面の対策

1. 湛水状態が続いているところでは土壌中の還元化が進んでいるので、直ちに1～2日程度の軽い田干しを実施し、根の活力を高めるとともに稲体の健全化を図る。
2. 茎数の増加がコシヒカリ、ゆめみづほともに平年よりも進んでいることから、中干しの開始は、**田植後1ヶ月から確実に**行うこと。
3. 中干しを確実に実施するため、溝切りを行うこと。
4. 本田に放置された補植苗は、本田のいもち病の伝染源となり早期多発を招くので、早急に取り除く。
5. 移植時に箱施薬を実施していない圃場では、いもち病の防除適期を逸しないように予防粒剤を必ず散布する。散布時期の目安は田植時期にかかわらず下記のとおりである。

加賀平坦部：6月10～15日

加賀常発地：6月10日頃

能登平坦部：6月10～20日

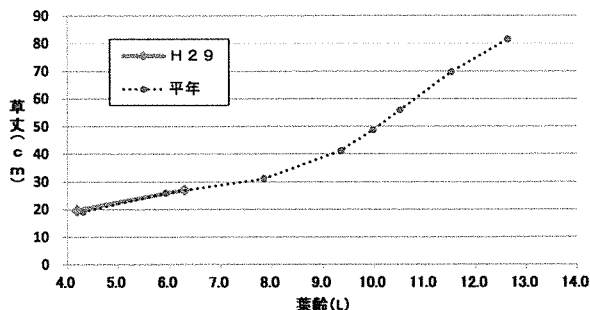
能登常発地：6月10～15日

6. イネドロオイムシの防除（箱施薬）をしていない場合は、6月上旬に1株当たり1卵塊以上認められたら、直ちに防除を行なう。
7. イネミズゾウムシの防除（箱施薬）をしていない場合は、成虫が1株当たり0.3頭以上認められたら、湛水状態で粒剤を散布する。
8. **斑点米カメムシ類は、気温の上昇に伴い急激に増加しやすいので、生息場所となる農道、畦畔、休耕田及び遊休地等の雑草地の除草を徹底する。**  
なお、刈り払った雑草は用排水路に入らないように注意する。

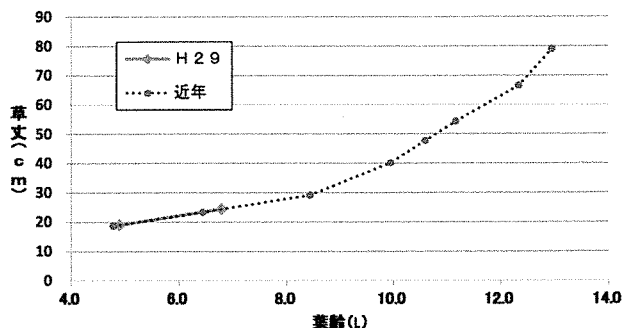
### ＜参考：葉齢の展開速度と草丈の伸長・茎数の増加について＞

葉齢を基に草丈の伸長および茎数の増加を平年と比較すると、草丈の伸長はコシヒカリ、ゆめみづほともに概ね平年並。茎数の増加についても、コシヒカリ、ゆめみづほともに概ね平年並となっており、いずれも葉齢の展開速度に見合った生育進度となっている。

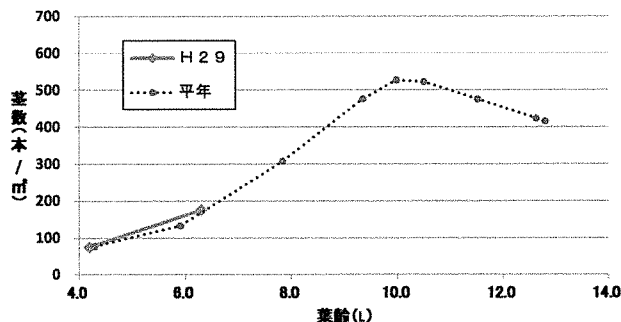
葉齢と草丈(コシヒカリ)



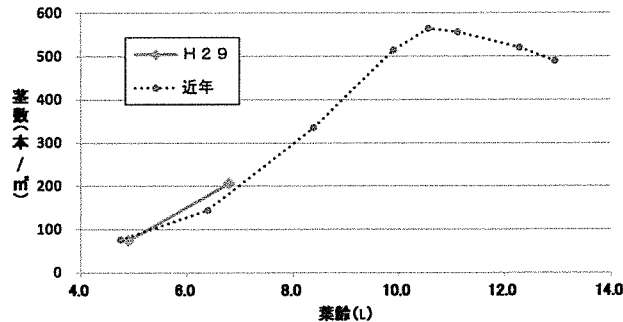
葉齢と草丈(ゆめみづほ)



葉齢と茎数(コシヒカリ)

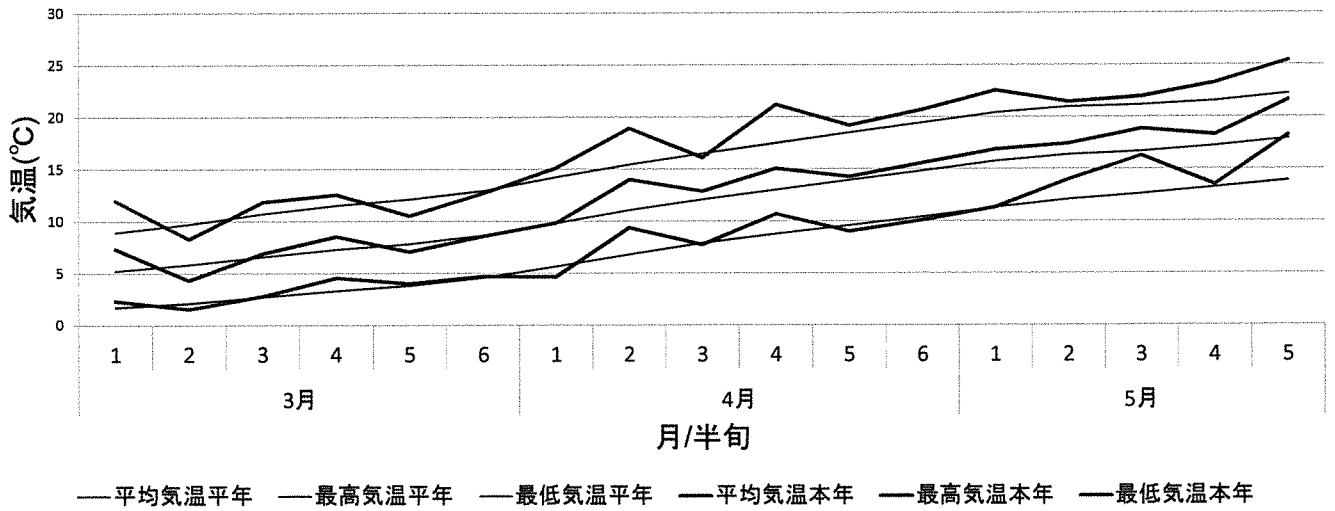


葉齢と茎数(ゆめみづほ)

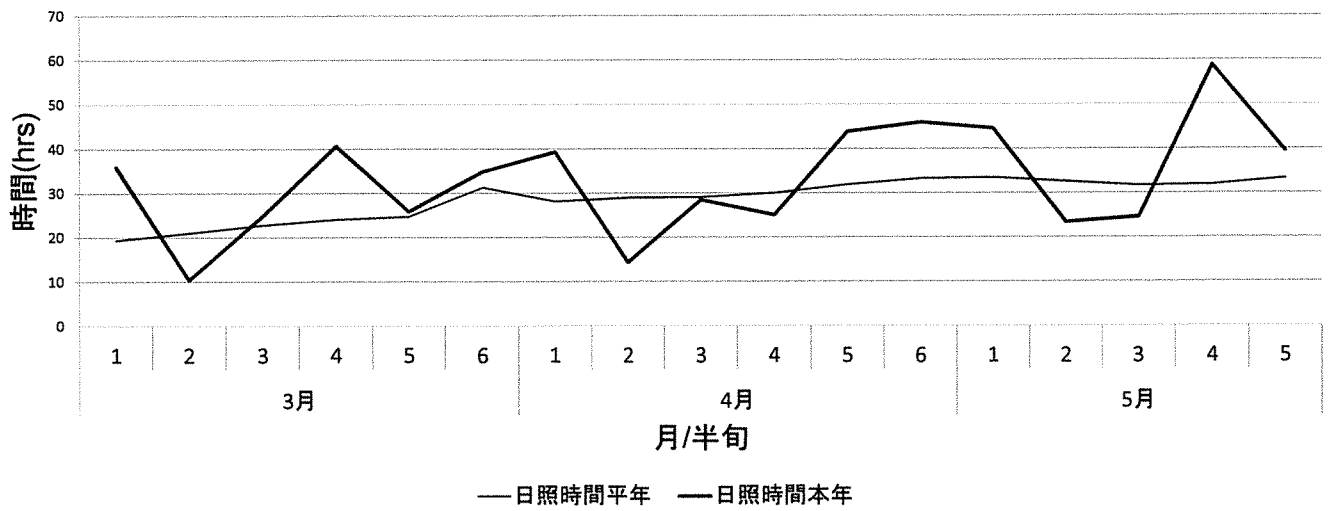


# 気象経過イメージ (金沢気象台)

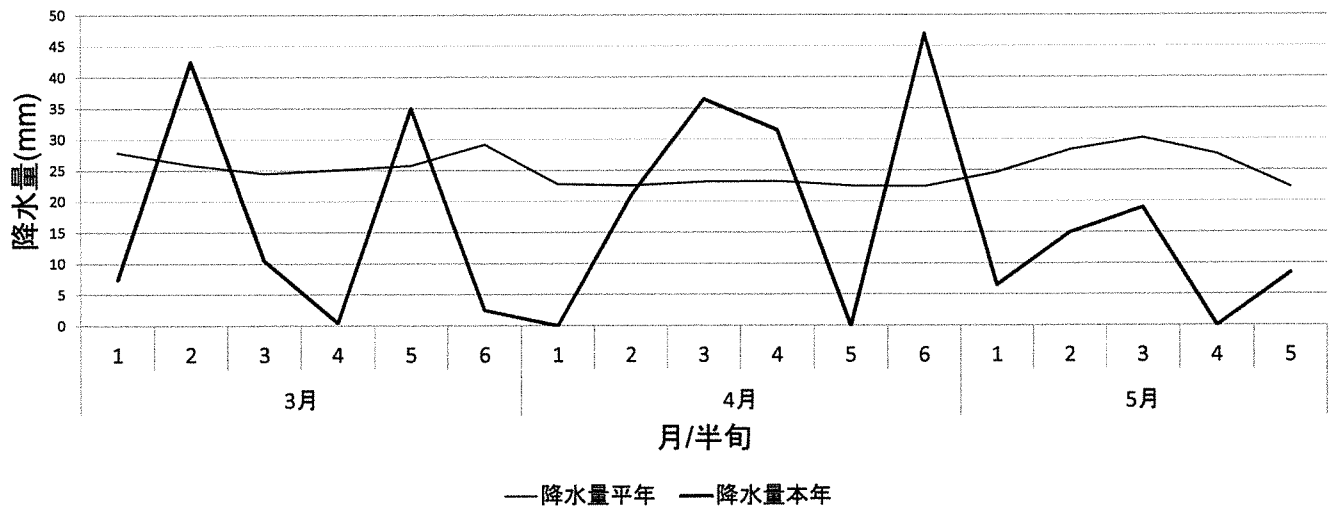
## 2017年の平均気温 金沢(半旬別)



## 2017年の日照時間 金沢(半旬別)



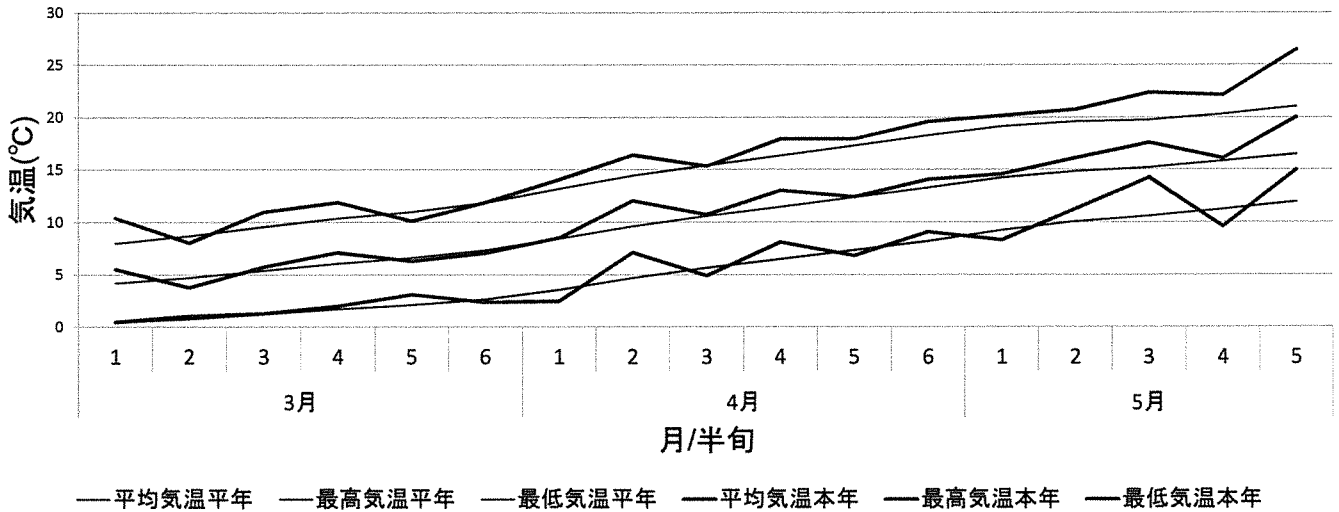
## 2017年の降水量 金沢(半旬別)



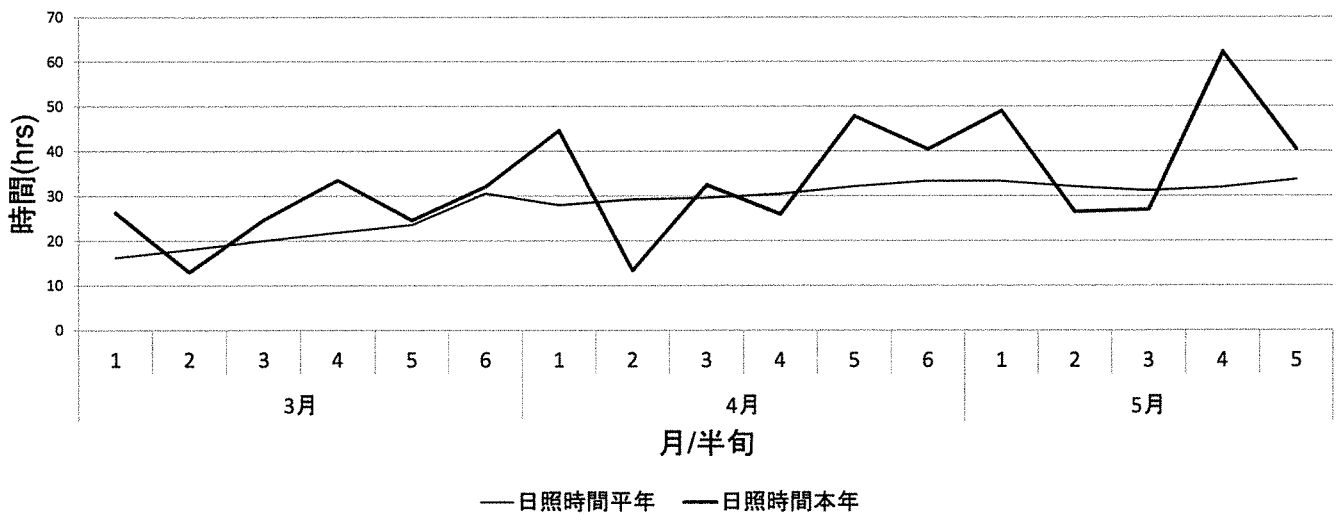
※金沢気象台観測データを基に石川県農業試験場が作成  
 ※平年値は過去30年間(昭和56年~平成22年)の平均値  
 ※降水量・日照時間については、1、3、5、7、8、10、12月の第6半旬は、6日間の合計値となるため、他の半旬より値が大きくなる場合が多い

# 気象経過イメージ（金沢気象台）

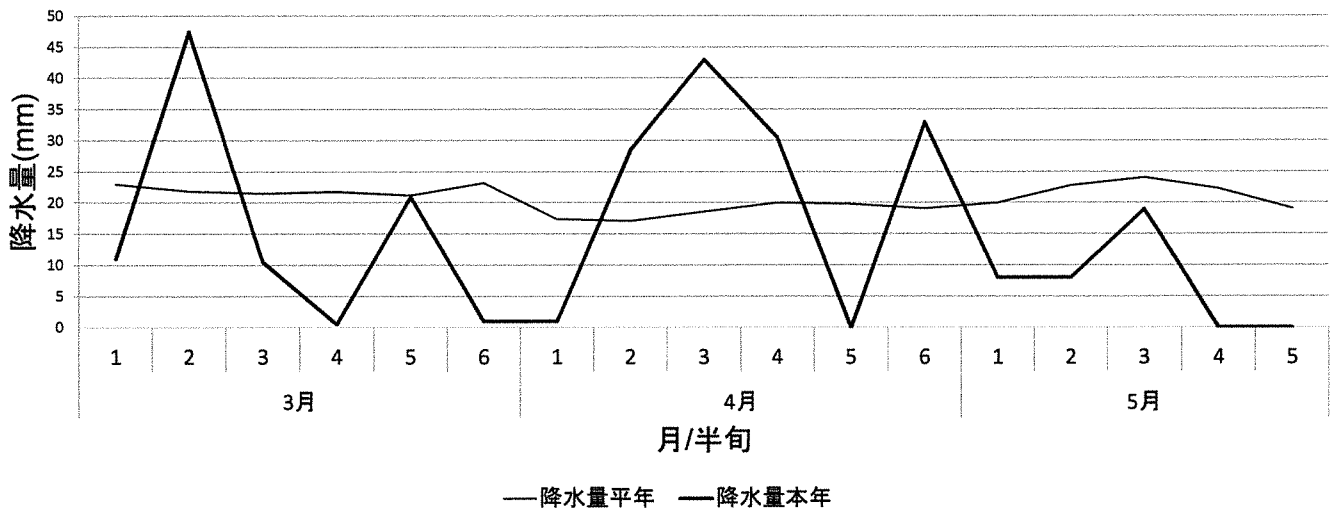
## 2017年の平均気温 輪島(半旬別)



## 2017年の日照時間 輪島(半旬別)



## 2017年の降水量 輪島(半旬別)



※金沢気象台観測データを基に石川県農業試験場が作成

※平年値は過去30年間（昭和56年～平成22年）の平均値

※降水量・日照時間については、1、3、5、7、8、10、12月の第6半旬は、6日間の合計値となるため、他の半旬より値が大きくなる場合が多い